

31. 新聞報道記事

北 陸 中

(第3種郵便物認可)

桶屋さん 冊子作成

七尾市青山町の障害者支援施設「青山彩光苑」に入所し、電動車いすで生活する男性が、車いす目線で取材した七尾の街並みを冊子にまとめた。男性は「車いすの人でも外出を楽しむための参考にしてほしい」と話している。

宝達志水町出身の桶屋善一さん(65)。生後間もなく脳性まひにかかり、手足や言語に障害がある。印刷業に興味を持ち、交流のある障害者らの季刊誌を三十二年前から発行。車いすに固定したデジタルカメラで取材を進め、八年前からは冊子作りにも取り組む。

「車いす目線から巡る七尾の旅・2017」というタイトルを付けた今回の冊子はA4判四十六ページ。昨年訪れた能登食祭市場と花嫁のれん館の館内や多目的トイレ、感想などが写真付きで紹介されている。

能登食祭市場に関しては「エレベーターが古いので、介助者がいると安心」

見て 七尾を見たからすい車

「外出楽しむ参考に」

現在、来年発行する冊子の取材を進めており、和倉温泉のほか、「JR金沢駅や観光客が多い金沢城に訪れた施設などに配布した。桶屋さんは「自分が行きたいところが車いすでも行ける」ということを冊子で知ってほしい」と語った。(松村真一郎)

車いす目線から七尾の街並みを冊子にまとめた桶屋善一さん(左)と七尾市青山町で



2017年9月7日付「北陸中日新聞」

2017年9月6日(水)に北陸中日新聞の取材を受けました。昨年度の冊子「車いすで巡る七尾の旅 2017」を取材・撮影協力団体・企業・お世話になっている福祉機関・報道機関・友人等に配布したところ、配布先の北陸中日新聞より取材があり、青山彩光苑の相談員・総務課職員の協力をお願いして取材を受けました。ご協力、ありがとうございました。

